

## 会議結果の公表

附属機関等の名称	新沖縄県史編集委員会
日時	令和元年12月26日(木) 10:00~12:00
場所	沖縄県公文書館 講堂
出席委員名	赤嶺政信 大城 學 狩俣繁久 近藤健一郎 里井洋一 高良倉吉 田名真之 鳥山淳 波照間永吉 比嘉悦子 前泊博盛 宮城晴美 吉浜忍
議題及び報告事項	<p>1 報告及び計画</p> <p>(1)平成30年度新沖縄県史編集委員会について</p> <p>(2)平成30年度刊行物及び令和元年度刊行物について</p> <p>(3)令和元年度各専門部会・班会議報告</p> <p>①刊行計画検討専門部会</p> <p>②図説編『前近代』専門部会</p> <p>③各論編『民俗』専門部会</p> <p>④各論編『現代』専門部会</p> <p>⑤各論編『言語』専門部会</p> <p>⑥ビジュアル版『沖縄戦』編集協力会議</p> <p>(4)県史料有償頒布について</p> <p>(5)「近代沖縄史料デジタル化事業」について</p> <p>(6)広報活動について</p> <p>(7)第48回全国都道府県史協議会について</p> <p>(8)史料調査について</p> <p>2 審議</p> <p>(1)各論編『現代』の内容構成及び執筆者の承認について</p> <p>(2)各論編『言語』の内容構成及び執筆者の承認について</p> <p>(3)各論編の通し番号について</p> <p>(4)各論編『芸能』部会の発足について</p> <p>(5)新沖縄県史刊行計画(第4次)策定について</p> <p>(6)その他</p>
議事の概要	<p>「1 報告」に対して、以下の質疑・要望が出された。</p> <p>①沖縄戦ビジュアルの刊行が計画されているとのことだが、他の部会でも刊行を計画することは可能なのか。</p> <p>(回答)新沖縄県史編集基本計画において、ビジュアル版、資料編は随時刊行となっている。事務局体制、予算状況をやりくりできれば可能である。</p> <p>②県史の活用について、平和祈念資料館等、県の機関と連携して考えていく必要があると思う。</p> <p>(回答)今後、検討を進めていきたいと考える。</p> <p>「2 審議」については以下の質疑・要望が出され、その後承認された。</p> <p>(1)各論編『現代』の内容構成及び執筆者の承認について</p> <p>①奄美はどのように扱う予定なのか。</p> <p>(回答)奄美返還等について本論で扱う予定。コラムも検討している。</p> <p>(2)各論編『言語』の内容構成及び執筆者の承認について</p> <p>(3)各論編の通し番号について</p> <p>(4)各論編『芸能』部会の発足について</p> <p>(5)新沖縄県史刊行計画(第4次)策定について</p> <p>①文学編を第4次刊行計画の早い段階に位置付けて欲しい。</p>
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	沖縄県教育庁文化財課
問い合わせ先	史料編集班 担当:納富 香織 電話 098-888-3939
備考	